

インドネシア料理教室 日時:平成25年11月9日(土)



インドネシア料理店ワルン・マタハリのイ・ワヤン・スナさんを講師に迎えて、広島ガスショールームのガストピアセンターにおいてインドネシア料理教室を開催し、20名の皆さまにご参加いただきました。

作ったメニューは、「サユルロデ(鶏肉のトマトココナツ煮)」「ミーゴレン(インドネシア風やきそば)」「ルンピア(バリ風生春巻き)」「ジャジャンバリ(餅粉と黒砂糖のデザート)」。

できあがった料理は、ビンタンビールとともに召し上がっていただきました。



日本人にとっても、口当たりの良い味わいです

ミーゴレン 「インドネシア風やきそば」レシピ

材料

青梗菜……………1束	サラダ油……………適量
ニンジン……………1/4本	中華そば……………3玉
シーフードミックス…150g	鶏がらスープの素…大さじ1.5
卵……………3個	もやし……………150g
おろしにんにく…大さじ1/2	

作り方

- ① 青梗菜を食べやすい大きさにカットし、ニンジンは千切りにする。
- ② シーフードミックスをボイルする。
- ③ 卵とおろしにんにくをあわせ、フライパンにサラダ油をひいてサッと炒める。半分火がとおったところで、皿にあげる。
- ④ ①と②を、油をひいたフライパンに入れて、③を加える。さらに中華そばを入れてしっかりと混ぜながら炒める。
- ⑤ 鶏がらスープの素を入れて、最後にもやしを加えて火が通ったらできあがり。

インドネシア語講座 日程:平成25年10月1日(火)～平成26年1月10日(金)

広島市留学生会館においてインドネシア語講座を開催しています。講師には広島大学医歯薬学総合研究科・大学院生のミフタフル・アキヤル先生(通称:ヤヤ先生)を迎え、初級向けの簡単な会話・文法を丁寧に教えていただいています。

受講生は、初めてインドネシア語にふれる方、仕事でこれからインドネシア語が必要になる方、インドネシアの方と結婚されている方など、目的はさまざま。受講生の皆さんは、英語に比べて聞き慣れないインドネシア語の単語を一つひとつ音読しながら、熱心に学ばれています。



テレジア・マリア・トジ・ピオさんからのご寄稿

私は、平成20年8月に経済連携協定(EPA)に基づいて来日しました。神戸で6ヵ月の日本語学習の終了後、広島に来ました。阿品土谷病院に勤めながら、YMCAに日本語の勉強に通いました。そして東京アカデミーに入り、3年間かけてとうとう日本の看護師国家試験に合格しました。

合格の祝賀会を開いて下さった事で広島インドネシア協会に初めて出会いました。日本に輸入されている天然ガスは東カリマンタンのボンタンという町で採取されています。偶然ですが、その町は私の故郷です。とても身近な感じがします。

今、内科透析の病棟で働いています。今年、新人教育の担当者に任命されて、病棟のリーダー業務を勉強させていただき、充実した日々です。とはいっても、時々疲れる時もあります。そんな時、広島インドネシア協会のお誘いは心が安らくなります。特に田村会長はどんなイベントでお目にかかってもいつも温かい話ができて、疲れを忘れてしまいます。

仕事ばかりではなく、私生活も頑張っています。スポーツしたり、お花教室に通ったり、国際センターで週一回ボランティアの方と日本語の勉強をしたりしています。色々な所に旅行もしました。今年3月にはインドネシアから両親がやって来て関西方面へ一緒に行きました。

来年は婚活に励もうと思っています。どなたかいい人はいませんか?!

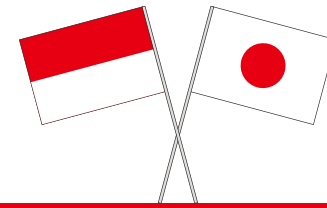
忙しいですが、楽しい毎日を過ごせるのは皆さまのおかげです。感謝しながら一日を大切にしていこうと思っています。



広島インドネシア協会会報

第24号

2014年 1月9日



編集・発行
広島インドネシア協会
広島ガス株広報環境部内
〒734-8555
広島市南区皆実町2-7-1
TEL(082)252-3000

総会 日時:平成25年6月11日(火)

2013年度総会を、駐日インドネシア共和国大使館のアグス・ヘルヤナ参事官、在大阪インドネシア共和国総領事館のバンバン・スギヤント領事、スザン・マリア・アユンティアス副領事をメインゲストに迎え、ANAクラウンプラザホテルにおいて開催しました。

引き続きの交流会では、広島県の村上地域政策局国際

部長のご挨拶の後、広島市の及川市民局長に乾杯のご発声いただき、約180名の会員・留学生の皆さまは楽しい交流のひとつを過ごしました。会の後半では、本年度介護福祉士国家試験に合格されたヘスティ・クスワンタリさん、マデ・アリアニさんをお祝いし、留学生による踊りを披露いただくなど、交流会も大盛況のうちに終了しました。

総会&交流会



アグス・ヘルヤナ参事官 ご挨拶



来賓の皆さま



インドネシア留学生によるパレカナ舞踊の披露



浅原副会長(広島大学学長)による閉会ご挨拶



総会風景



バンバン・スギヤント領事からお祝いを受けるヘスティさん(左)、マデさん(右)



独立記念祭

日時:平成25年
8月27日(火)

リーガロイヤルホテル広島において、インドネシア共和国の独立68周年を祝う記念祭を開催しました。駐日インドネシア共和国大使館参事官のリッキー スヘンダール様をはじめとする来賓の方々を迎え、約230名の方々にご参加いただきました。エイシアンハーモニーアンクルン合奏団によるインドネシア国歌の演奏で幕をあげました。

記念祭では、フマキラー株式会社の大下会長のご紹介により、バリ島からお越しくださったプロ歌手のドナ様に見事な美声をご披露いただき、コンサート会場のような盛り上がりとなりました。

続いて、留学生からは、踊りと歌による催しがあり、その後田村会長から帰国する留学生一人ひとりに記念品の贈呈がありました。留学生を代表してウイジャリニ ウェニングティヤスさんからご挨拶をいただきました。大勢のインドネシア留学生の方々に越しいいただき、賑やかなお祝いの会となりました。



エイシアンハーモニーアンクルン合奏団によるインドネシア国歌演奏



田村協会長から帰国留学生へ記念品贈呈



田村協会長 開会ご挨拶



リッキー スヘンダール参事官 ご挨拶



広島県 村上国際部長 ご挨拶



ひろしま産業振興機構
川北常務理事による開会ご挨拶



ドナさんをご紹介くださるフマキラー(株)大下会長



帰国留学生ウイジャリニ ウェニングティヤスさんによるスピーチ



ドナさんの見事な歌声が響き渡りました



閉会後にインドネシア留学生の皆さんが記念撮影

講演会

日時:平成25年3月5日(火)

ホテルセンチュリー21広島において、マツダ・モーター・インドネシア(MMI)代表取締役社長の奥江敬三様を講師にお迎えし、講演会と交流会を開催しました。

『インドネシアにおける自動車市場の現状～自動車ビジネスを通じたインドネシア紹介～』という演題で、ご講演をいただきました。ご講演の要旨を紹介します。

1 はじめに

インドネシアの人口は2億4,000万人ほどで世界第4位、都市圏で見ると首都ジャカルタの近郊は2,600万人で、東京横浜に次いで世界第2位となっている。GDP成長率も年々伸びているが、昨年は世界経済の影響を受け、足踏み状態となっている。マッキンゼー社の分析によると、2030年までに人口は4,000万人、消費者層は9,000万人の増加が見込まれている。世界経済がうまく回りだすと、途轍もなく希望のある国であると言えるだろう。

2 インドネシアの自動車市場について

インドネシア国内の自動車販売台数は、2010年から急激に増え始め、2012年に110万台となり初めて100万台を超えた。今年は120万台と見られ、昨年並みの大きな伸びは期待できないだろう。販売台数の内訳を見ると日本車が95%を占め、日本以上に日本車が多い国である。最も多いのはTOYOTA車で36.4%、Mazda車は1.1%で10位となっている。近年、韓国やヨーロッパの国々が進出し始め、今後、厳しい競争が続くと思われるマーケットである。

ジャカルタ近郊の道路は慢性的な渋滞があり、30km進むのに3時間かかることもあると言われる。バイクの年間販売台数も600~800万台と多く、道路は車とバイクで混雑している。渋滞による経済損失は4,000億円と報道されているが、実際はもっとあると思われる。政府は通勤時間帯に乗用車に3人以上の乗車規制をかける「3イン1」制度を導入したが、人数合わせの乗客となることで賃金を得る「ジョッキー」という子どもや子連れの母親などが増え、渋滞の解決には至っていない。道路整備などの根本的な解決が必要であろう。

自動車を購入できるのはいわゆる富裕層の人たちで、全人口の10%に満たない。インドネシアでは自動車はまだ贅沢品で、1.0L~1.5Lの乗用車で30%、3.0L越では75%もの奢侈税がかかる。その他の税もあり、日本で220万円のCX-5がインドネシアでは380万円にもなる。

3 お客様の家族構成や使用イメージについて

車を買われるお客さまは、立派な家を持ち、住み込みのメイドやドライバーを雇っている方が多い。また、郊外のレジデンスエリア(日本でいう団地)には、車を複数台所有されている方もいる。どの家にも家族で撮った写真が飾られており、家族を大切にされていることが分かる。

インドネシアで最も売れているのは、3列シートの多人数乗車ができる乗用車である。その理由としては、大家族主義の伝統、家族や親戚で集まる習慣が残っていることが考えられる。地方への帰省時に大量の荷物を積むこともでき、一度、便利な3列ミニバンに乗るとセダンには戻れないのは、日本と同様である。結果、「お手頃価格の3列7人乗りミニバン」のインドネシア専用モデルが増えている。

平日の朝夕はご主人の通勤、午後は奥様の買い物、週末は家族でショッピングモールに出かけるというのが一般的な車の使い方。ドライバーやメイド(ベビーシッター)も同乗するため、多人数乗車は不可欠となっている。

4 MMIの活動について

弊社は平成18年に設立し、平成22年のMazda2(デミオ)の導入で販売台数を大幅に増やした。昨年はCX-5が数々の受賞をした。店舗は37店で、内11店はジャカルタにある。

活動としては、Facebookやtwitterの活用によるコミュニケーション、ホテル等での新型車発表会のほか、国内最大のファッションショー「ジャカルタファッションウィーク」のメインスポンサーとなりブランドイメージアップをねらった取り組みも行っている。「CX-5エコランチャレンジ」は、2.0LガソリンエンジンのCX-5を7台使い、満タン56Lでジャカルタからバリまでの約1,000kmをどこまで走れるかという企画で、出車した全7台とも1,000kmを超え、最高1,112kmを走った。このときの燃費は19.9km/Lとなり、参加したジャーナリストも非常に驚いていた。車はお金持ちのものではあるが、燃費にも敏感で、強いアピールになった。パンフレットやCMも女性、若い夫婦などターゲットカスタマーをイメージして作っており、中にはメイドインジャパンとして好感をもたれているマンガを使ったものもある。

販売台数の70~80%は高級ショッピングモールで売られている。モールはデューティフリーの高級ブランド店が並ぶといった感じで、各社ともモーターショー張りの展示をしている。昨年からモールだけでなくショールームでイベントを行って販売するという試みを行っている。これは日本では当たり前の販売手法だが、インドネシアではおそらく業界初である。

5 おわりに

2012年は販売台数12,150台で、マーケット成長以上の伸びを継続している。受賞も12の賞をいただき、存在感を高めることができた。

これに甘んずることなく、今後とも「マツダらしさを維持し、『オンリーワン』ブランドへの育成」や「SKYACTIV商品の浸透」をめざして、がんばっていきたい。